

平家物語『忠度の都落ち』定期テスト対策問題 | 現代語訳・掛詞・文学史の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

本文

薩摩守忠度は、いづくよりや帰られたりけん〔①〕、侍五騎、童一人、わが身ともに七騎取つて返し、五条の三位俊成卿の宿所におはして〔②〕見給へば、門戸を閉ぢて開かず。「忠度。」と名のり給へば、「落人〔③〕帰り来たり。」とて、その内騒ぎ合へり。薩摩守、馬より下り、みづから高らかにのたまひけるは、「別の子細候はず。三位殿に申すべきことあつて、忠度が帰り参つて候ふ。門を開かれずとも、このきはまで立ち寄せ給へ〔④〕。」とのたまへば、俊成卿、「さることあるらん。その人ならば苦しかるまじ。入れ申せ。」とて、門を開けて対面あり。ことの体、何となうあはれなり〔⑤〕。

薩摩守のたまひけるは、「年ごろ申し承つて後、おろかならぬ御ことに思ひ参らせ候へども、この二、三年は、京都の騒ぎ、国々の乱れ、しかしながら当家の身の上のことに候ふ間、疎略を存ぜずといへども、常に参り寄ることも候はず。君すでに都を出でさせ給ひぬ〔⑥〕。一門の運命はや尽き候ひぬ。撰集〔⑦〕のあるべき由承り候ひしかば、生涯の面目に、一首なりとも御恩をかうぶらうど存じて候ひしに、やがて世の乱れ出でて、その沙汰なく候ふ条、ただ一身の嘆きと存ずる候ふ。世静まり候ひなば、勅撰の御沙汰候はんずらん。これに候ふ巻き物のうちに、さりぬべきもの候はば、一首なりとも御恩をかうぶりて、草の陰にてもうれしと存じ候はば〔⑧〕、遠き御守りでこそ候はんずれ。」とて、日ごろ詠みおかれたる歌どもの中に、秀歌とおぼしきを百余首書き集められたる巻き物を、今はとてうつつたれけるとき、これを取つて持たれたりしが、鎧の引き合はせより取り出でて、俊成卿に奉る〔⑨〕。

三位これを開けて見て、「かかる忘れ形見を賜りおき候ひぬる上は、ゆめゆめ疎略を存ずまじう候ふ〔⑩〕。御疑ひあるべからず。さてもただ今の御渡りこそ、情けもすぐれて深う、あはれもことに思ひ知られて、感涙抑へがたう候へ。」とのたまへば、薩摩守喜びて、「今は西海の波の底に沈まば沈め〔⑪〕、山野にかばねをさらさばさらせ、浮き世に思ひおくこと候はず。さらば暇申して。」とて、馬にうち乗り、甲の緒を締め、西をさいてぞ歩ませ給ふ〔⑫〕。三位後ろをはるかに見送つて立たれたれば、忠度の声とおぼしくて、「前途程遠し、思ひを雁山の夕べの雲に馳す〔⑬〕。」と、高らかに口ずさみ給へば、俊成卿いとど名残惜しうおぼえて、涙を抑へてぞ入り給ふ。

その後、世静まつて、千載集〔⑭〕を撰ぜられけるに、忠度のありしありさま、言ひおきし言の葉、今さら思ひ出でてあはれなりければ、かの巻き物のうちに、さりぬべき歌いくらもありけれども、勅勸の人なれば、名字をばあらはされず〔⑮〕、「故郷の花」といふ題にて詠まれたりける歌一首ぞ、「読み人知らず〔⑯〕」と入れられける。

さざ波や志賀の都は荒れにしを昔ながらの山桜かな〔⑰〕

その身、朝敵となりにし上は、子細に及ばずといひながら、うらめしかりしことどもなり〔⑱〕。

設問

設問は全部で28問あります。型ごとにまとめてありますが、番号は通し番号です。解答は記事末尾の「解答・解説を見る」で確認できます。

1. 現代語訳

- 傍線部①「いづくよりや帰られたりけん」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑤「ことの体、何となうあはれなり」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑧「草の陰にてもうれしと存じ候はば」を、「草の陰」の意味がわかるように現代語訳しなさい。
- 傍線部⑩「ゆめゆめ疎略を存ずまじう候ふ」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑪「沈まば沈め」とそれに続く「さらさばさらせ」を含む一文を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑬「前途程遠し、思ひを雁山の夕べの雲に馳す」を現代語訳しなさい。

2. 敬語

- 傍線部②「おはして」の敬語の種類と、誰から誰への敬意かを答えなさい。
- 傍線部④「立ち寄せ給へ」の「せ給へ」を文法的に説明し、誰から誰への敬意かを答えなさい。
- 傍線部⑥「君すでに都を出でさせ給ひぬ」の「君」とは誰か。また「させ給ひ」がこの人物に用いられている理由を答えなさい。
- 傍線部⑨「奉る」の敬語の種類と、誰への敬意かを答えなさい。
- 本文で忠度の発言・動作に繰り返し使われる「のたまふ」の敬語の種類と、誰から誰への敬意かを答えなさい。
- 忠度の長い発言の中で多用される「候ふ」の敬語の種類と、誰への敬意かを答えなさい。

3. 文法

- 傍線部①「や……けん」の文法的なきまりの名称を答え、「けん」の文法的意味を答えなさい。
- 傍線部⑪「沈まば沈め」を文法的に説明しなさい（「ば」の用法と、このような表現が表す意味合いにふれること）。
- 傍線部⑫「西をさいてぞ歩ませ給ふ」について、(1)「ぞ」の結びの語を指摘し、(2)「せ」の文法的意味を、直前の「馬にうち乗り」をふまえて答えなさい。
- 傍線部⑮「勅勘の人なれば」の「なれば」を文法的に説明しなさい。
- 本文中「うつ立たれけるととき」「持たれたりしが」の「れ」の文法的意味を答えなさい。

4. 和歌の解釈と修辞

- 傍線部⑰の和歌について、「さぎ波や」の修辞の名称と、どの語を導いているかを答えなさい。
- 同じ和歌の「ながら」に用いられている修辞の名称を答え、掛けられている二つの意味を説明しなさい。

20. 傍線部⑰の和歌を現代語訳しなさい。
21. 「志賀の都」とはどこの都のことか。また、この歌で荒れた旧都に何が重ねられているかを説明しなさい。

5. 内容理解

22. 傍線部③「落人」の読みと意味を答えなさい。
23. 傍線部⑦「撰集」とは何のことか。本文に即して具体的に答えなさい。
24. 都落ちの途中であった忠度が、危険を冒してまで俊成卿のもとへ引き返した目的を説明しなさい。
25. 傍線部⑱「読み人知らず」として歌が入れられたのはなぜか。傍線部⑮を根拠に説明しなさい。
26. 傍線部⑲「うらめしかりしことどもなり」は、誰の、どのような心情を表しているか説明しなさい。

6. 文学史

27. 『平家物語』の成立時代とジャンルを答え、この作品がどのように人々に広められたかを簡潔に説明しなさい。
28. 傍線部⑲「千載集」について、(1)勅撰和歌集の何番目にあたるか、(2)撰者は誰か、(3)その撰者の子で『新古今和歌集』の撰者・『小倉百人一首』の撰者として知られる歌人は誰か、をそれぞれ答えなさい。